

事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成30年2月1日

事業所名 発達支援センター めばえ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動に応じて活動室の移動を行い、安心・安全に活動できる体制を整えています。	安心・安全に活動するために、活動前の打ち合わせや職員間の連携を徹底していきます。
	②	職員の配置数は適切である	○		療育内容や子どもの状況に応じて、全職員で支援をする体制を整えています。	障害者総合支援法に基づき職員を配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		各活動室入口に、グループの名称を掲示しております。また、段差はなく、平屋建てとなっております。	子どもの様子に応じた構造化に取り組めるよう、定期的に検討し、より過ごしやすい空間を作っていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の清掃や月ごとの安全点検を行い、清潔を保つ取り組みを行っています。また、活動に合わせて活動室の使用を行っています。	心地よく過ごしてもらうために、定期的な清掃の徹底や活動に合わせた空間の使用を行っています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的に課題検討会を実施して、業務改善に向けて話し合いを行っています。	業務改善に向け、職員間で話し合いを行い、より良い職場環境となるよう、取り組んでいます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に1回、保護者アンケートを実施し、その内容を基に業務改善につなげています。	アンケートの内容を真摯に受け止め、今後も改善に繋げていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		今回のように、今後も定期的に公表していきます。	開かれた事業所づくりを目指し、今後も定期的に公表していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		平成29年3月に外部評価を受け、業務改善につなげています。	今後も定期的に外部評価を受け、業務改善に努めていきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修に関するアンケートを実施しています。年間計画をたて、事業所内・法人内・外部研修へ参加しています。	研修の機会を確保し、職員の意欲や知識向上につながるよう、今後も取り組んでいきます。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		子どもと保護者のニーズや課題を分析し、相談支援専門員と連携を図り、計画を作成しています。	相談支援専門員との連携や子どもと保護者へのアセスメントを適切に行うことで、より良い支援計画書の作成に取り組んでいます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		法人で統一したアセスメントツールを使用しています。必要に応じて項目や療育の見直しを行う体制を整えています。	今後も、統一したアセスメントツールの使用や、必要に応じて項目や療育の見直しを行い、個々に合わせたより適切な支援を行えるよう、取り組んでいきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		支援計画について検討会を実施し、必要な項目や具体的な支援内容を検討・設定しています。また、ガイドラインを玄関ホールへ設置し、いつでも見られるようにしています。	子どもの特性に合わせた項目になっているか、支援内容になっているかを職員間で検討し、児童発達支援ガイドラインに沿った支援に取り組んでいます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		活動前には支援計画内容を確認し、子どもに合わせた目標を設定し、支援を行っています。	事前の確認・打合せを徹底し、支援計画に合わせた支援が行えるよう、取り組んでいます。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成30年2月1日

事業所名 発達支援センター めばえ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		月ごとのプログラムを担当者を中心にグループ内で話し合いながら立案を行っています。年間計画についても意見を出し合い立案しています。	今後もチームでの立案を行い、子どもたちの成長へ繋げていきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		年間計画や月ごとのプログラムを立案する際、新しい活動や季節の行事を取り入れ固定化しないよう工夫しています。	新しい活動や季節の活動を取り入れ、子どもたちが様々な経験ができるよう工夫していきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	○		相談支援専門員との連携やアセスメントツールを活用し、子どもの状態に応じて個別活動と集団活動を組み合わせ作成しています。	子どもの状況をきちんと把握し、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、支援計画を作成していきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援前には、日案を基に打ち合わせを行い、支援内容や役割分担の把握に努めています。	打ち合わせを行い、職員間の連携の強化はもちろん、子どもたちが積極的に参加し、成長できるよう支援を行っていきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援後には、日案を基に振り返りを行い、記録に残し報告の共有を行っています。	振り返りを行うことで、情報共有し、今後も子どもたちが成長できるよう支援を行っていきます。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援計画の検証・改善につなげている	○		支援計画が適切に実行されているか、意識しながら支援し、それに基づいた記録を行っています。また、成功した支援内容等も記入し、支援が適正かを検証しています。	今後も支援計画に沿って、それぞれの課題や達成状況を分かりやすく記録し、支援計画の検証・見直しに繋げていきます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		子ども・保護者と面談し、支援内容について定期的にモニタリングを行い、満足度を確認しながら評価を行っています。また、計画の見直しを検討する会議を関係職員が参加し、行っています。	今後も記録を基に、子ども・保護者と面談や関係職員との会議で、見直しの必要性を判断していきます。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者、担当者が参加し、情報の共有を行っています。	子どもの状況を把握した児童発達支援管理責任者や担当者が参加し、相談支援専門員と連携をより綿密に図っていきます。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		関係機関と連携した支援を行っています。電話連絡だけでなく、必要に応じて連絡会等での情報共有を行っています。	連絡会への参加や電話連絡など積極的に行い、情報共有に努めています。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	医療的ケアが必要な子どもは現在通われていませんが、地域や関係機関と連携を図り的確な対応ができるようにしています。	より地域や関係機関と連携を図り、的確に取り組んでいきます。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力機関等と連絡体制を整えている		○	医療的ケアが必要な子どもは現在通われていませんが、かかりつけ医や主治医等を把握し、緊急時には迅速に対応できるようにしています。	主治医や協力医療機関との連絡体制や迅速な対応を行えるよう、取り組んでいきます。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		情報提供シートを活用し、情報の共有を行うようにしています。また、保育所等訪問を行い、相互理解に努めています。	移行支援シートの活用や連絡を行い、的確に子どもの様子を伝え、情報共有・相互理解を図っていきます。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行支援シートを活用し、情報の共有を行うようにしています。また、必要に応じて連絡を取ったり、訪問したりし、相互理解に努めています。	移行支援シートの活用や学校との連絡会の際に、的確に子どもの様子を伝え、情報共有・相互理解を図っていきます。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成30年2月1日

事業所名 発達支援センター めばえ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門機関と連携し、作業療法士・言語聴覚士・臨床心理士から助言や研修を受けています。また、公開療育を実施しています。	職員の見識・技術の向上や保護者支援のために、今後も専門機関と連携していきます。
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		ボランティアを招いた入り、保育園の子どもたちと一緒に活動する機会を設けています。	交流機会を積極的に設け、子どもたちの経験や学びの場を確保していきます。
	㉒	(自立支援)協議会子ども部会の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		管理者が協議会へ参加しています。その内容について、職員への周知を行っています。	今後も参加し、職員へ内容の周知を図っていきます。
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳やバス送迎時に伝えています。また面談等を活用し、情報の共有や課題等について共通理解できるように努めています。	連絡帳の内容や送迎バス時の会話を大切に、状況や課題について情報提供を積極的に行っていきます。
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		作業療法士や言語聴覚士による保護者向けの研修会を計画し、実施しています。	家族支援を充実させるため、現在研修や専門機関とのやり取りを行っている。今後、充実した支援ができるよう取り組んでいきます。
保護者への説明責任等	㉕	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用契約の際に、運営規定や利用者負担等について、説明を行っています。子どもにも理解しやすいように紙芝居形式の物の使用も行っていきます。また、変更があった場合には文書にて伝えています。	契約時に内容を分かりやすく説明し、安心して利用できるよう取り組んでいきます。
	㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援計画を示しながら説明を行い、同意を得ています。ご家族保管用と事業所保管用を用意し、それぞれ保管しています。	個別支援計画書において、ガイドラインの把握したうえで作成し、丁寧な説明を行い、同意を得て支援へとつなげていきます。
	㉗	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		個別面談時以外にも随時相談を受け付け、助言や支援を行っています。連絡帳やバス送迎時の言葉にも気を配り、困り感に気付けるよう努めています。	連絡帳の内容や送迎バス時の会話を大切に、困り感の気づきと把握を行い、必要な助言や支援を行います。
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	現在、父母の会はありませんが、語ろう会や親子療育等、保護者が交流できる行事を取り入れていきます。	保護者同士の連携を図ることができるよう、交流会の時期や内容等を検討し、実施していきます。
	㉙	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		受付担当者や責任者、第三者委員等の体制を整備し、迅速に対応できるようにしています。また、相談や申し入れの内容は職員間で共有し、改善できるように努めています。	マニュアルの周知徹底を行い、相談や申し入れがあった際には、迅速かつ適切に対応していきます。
	㉚	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		法人の会報を年3回、施設の月便りを毎月発行し、行事予定や活動内容を発信しています。連絡体制については、事業所内に掲示しています。	今後も、より分かりやすい内容を発信できるよう取り組んでいきます。
	㉛	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報管理マニュアルを整備し、職員への周知を行っています。また、解約時に個人情報の取扱いについて説明を行い、承諾を得ています。	個人情報の取扱いについて、マニュアルの周知や職員間での注意喚起に取り組んでいきます。
	㉜	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため配慮をしている	○		臨床心理士・言語聴覚士等の専門職から指導を受け、子どもの特性に応じた対応を行っています。	専門職との連携を行い、より良い意思の疎通や伝達方法を検討し、実施していきます。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成30年2月1日

事業所名 発達支援センター めばえ

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		研修やイベント、行事等での地域の方々に施設を開放しています。	地域住民との交流を定期的に行えるよう、行事等の計画を行っています。
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各マニュアルを整備し、研修を通して職員への周知を図っています。非常時のマニュアルは事業所に掲示しており、来園者がいつでも見れるようにしています。	非常災害時のマニュアルの掲示を行っているが、保護者周知という点においては課題が残るため、今後取り組んでいきます。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている	○		月に1度、避難訓練を実施し、火災・自信。風水害等に合わせて非常災害計画を作成しています。消火訓練や不審者対策訓練を他事業所と一緒に取り組んでいます。	警察や消防からのアドバイスをいただいているため、アドバイスを基に今後の訓練へ取り組んでいきます。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に子どもの状況や緊急連絡先の確認をしています。日中に服薬がある場合は、服薬の処方箋や服薬依頼書をもらい対応しています。	事前に情報を得ることで、子どもの体調面へ配慮し、適切に対応していきます。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者からの申し出書を基に対応を行っています。	アレルギーの把握に努め、医師の指示書についても徹底していきます。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ひやりはっと報告書を作成し、事例があった場合は、朝礼や回覧等で全職員へ周知を行っています。また、集計し、傾向の分析を行っています。	ヒヤリハットの共有・周知はもちろん、原因説明や解決策を職員間で検討し、事故予防に努めていきます。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		事業所内・法人内・外部研修へ参加しています。人権擁護委員会を中心に事業所内で虐待防止に取り組んでいます。	研修会への参加やマニュアルの周知、人権擁護ハンドブックの読み合わせを行い、注意喚起にも取り組んでいきます。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	現在、身体拘束を行う事例はありませんが、契約時に説明を行っています。	身体拘束を行う際は、子どもや保護者に十分説明し、承諾を得て、支援計画に沿って行っていきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成30年2月1日

事業所名 発達支援センター めばえ 保護者等数(児童数)58名 回収数32名 割合55.1%

		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27	5	0	0	・大きい子供が多いクラスでは、十分なスペースとは言えない気がします。 ・教室のスペースや園庭活動はもう少し刺激がある活動をお願いしたいです。	グループの人数や活動に応じてグループ内をさらに2つのグループに分けて活動を行う機会も取り入れ、十分なスペースを確保できるように努めています。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	21	8	1	2	・クラス担当の先生方その他、他のクラスの先生にも話が気軽に相談でき安心して子供達をお願いできます。 ・もう少し1クラスの先生の人数がいても良い気がします。 ・職員数が足りていないのではないかと思う時があります。	定められている人員配置は満たしていますが、職員間の連携を図りよりよいサービスを提供できるように努めて参ります。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	30	2	0	0		
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	29	3	0	0	・もう少し広いスペースがあっても良いと思います。 ・ただ、トイレをもう少しきれいにしてもらえたらうれしい。(掃除) ・大きく元気な子供達の方が多いので、小さい子供が危なくないか心配です。	・必要に応じて、だいちゃわかば・園庭の使用を行い、心地よく過ごせるように努めています。 ・衛生面へ配慮が行き届かず申し訳ありません。お気づきの点がありましたら職員までお知らせください。 ・職員間の連携の徹底や職員配置に努めていきます。
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	30	1	0	0		
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	31	1	0	0		
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	24	4	1	3	・参加日数が少なくなりすぎません。 ・まだ1回しか言っていないので、本人の様子を観察中。 ・最近は少し気になる。	支援計画に沿ったしえんを行えるよう、療育前には打ち合わせを、療育後には反省を行っております。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	24	6	1	1	・たぶんなっていると思う。けど、よくわからない	毎日の活動内容に合わせて、子どもさん1人1人の目標をたて活動を行っています。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	17	1	3	10		

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成30年2月1日

事業所名 発達支援センター めばえ 保護者等数(児童数)58名 回収数32名 割合55.1%

		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保護者への説明等	⑩ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	31	0	0	0	請求書が入った封筒の説明を受けていなかったのが最初はどうしたらいいのかわからなかった。領収書が入っていることも分からず封筒に押印したのでそのまま返却していた。初めてのことは説明してほしい。	説明不足があり、申し訳ありませんでした。今後、説明においても、丁寧に参ります。
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	32	0	0	0		
	⑫ 保護者に対して「家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	13	8	1	10	・参加できておらず迷惑をおかけしています。	今年度、語ろう会や研修会を開催いたしました。今後より良い内容となるよう、現在、計画をたて取り組んでおります。
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	25	5	2		・良くしていただいています。	今後も、ご家族の方と一緒に子どもさんの成長を見守っていただけるよう、共通理解に努めていきます。
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われているか	26	4	1	1	・親身になってアドバイスや相談にのってくれます。 ・自宅での様子を伝えるといつもすぐに助言や園での様子を教えてください、相談にものってもらえています。 ・連絡帳に書いてあることが助言になっているのでしょうか？私が質問しない限りは、今の所、先生たちからの助言はないと思います。	配慮が行き届かず申し訳ありません。育児に関することや療育に関することなど不安なことやご不明なことなどありましたら、いつでもご連絡ください。
	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	7	5	9	・現状、参加できておらず。 ・保護者同士の交流が少ない。 ・まだ通い始めたばかりでわからない。 ・家族通所では、保護者がクラスでもあふれて何が何やらゴチャゴチャしています。	・保護者同士の交流については、今年度、語ろう会や研修会を設けておりますが、今後、交流の場を設けられるよう検討して参ります。 ・家族通所については、ご家族で楽しんでいただけるよう、開催の仕方や内容等を検討してまいります。
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されるとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	23	8	0	0	・もう少し早く対応していただきたい時もあります。 ・先生達の都合と自分の都合が合わない時は伸ばし伸ばしになってしまう所がある。 ・個別の対応はスムーズにしてくださっていると思います。	配慮が行き届かず申し訳ありません。今後の対応の体制において、迅速かつ丁寧に参ります。
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	28	2	0	1		
	⑱ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	25	3	1	2		
⑲ 個人情報の取扱いに十分注意されているか	27	0	0	4	・トラブルは1度もないです。	マニュアルを整備し、取り扱いには十分配慮しております。今後も職場内啓発活動を行い、丁寧に取扱い参ります。	

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成30年2月1日

事業所名 発達支援センター めばえ 保護者等数(児童数)58名 回収数32名 割合55.1%

		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
非常時等の 対応	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	27	4	0	0	・緊急対応などはよく分からないが、感染症などは配慮してくれていると思う。	マニュアルについては、作成し毎年見直しを行っております。また、「非常災害対応計画」をファイルに綴り、ホールに掲示しております。めばえにお越しの際にご確認いただけたら幸いです。
	㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	28	1	0	2		
満足度	㉒ 子どもは通所を楽しみにしているか	26	4	0	1	・時々、玄関先や社内で急に泣くことがあり、後追いの延長が見られます。 ・大変お世話になってます。いつも通所を楽しみに、子どもは朝起床します。楽しく過ごせ、成長していく姿に感謝しています。ありがとうございます。 ・楽しく通えています。めばえに通うようになってからの成長に感謝しております。 ・めばえに行く事は、本人は楽しみにしているので、先生達や環境はとて面白いんだろうと思います。	今後も子どもたちが楽しく過ごせるよう、より充実した活動内容や環境設定に取り組んで参ります。
	㉓ 事業所の支援に満足しているか	25	4	1	1	・ある父子ペアに声をかけた先生が、質問したのに返事をきかずにその場を立ちさる姿をみて、父親が返事をする時に目にいない状況を見てしまいました。子供との関りは大丈夫か心配になりました。 ・先生方も個々の対応は親切ですが、保護者が多く集まる時はうまく機能して見受けられません。 ・だいぶ成長してくれたので、すごい助かってます。 ・担任の先生だけでなく、他のクラスの先生方やバスのドライバーさんまで、娘の名前を覚えてくださっており、名前を呼んであいさつしてくれたり、めばえの職員の皆様が本当にしっかりと娘のことを見守り、支援してくださっているのが嬉しいです。 ・先生方には感謝しております。今後ともよろしく願い致します。	・ご指摘、ありがとうございます。職員へご家族への受け答えの仕方や退出する際のマナー等、指導して参ります。 ・不快な思いをさせてしまい、申し訳ありません。どの活動の際も、職員間で反省を行い次回へ活かせるよう話し合いを行っております。今後、不備のないよう職員一同努めて参りますので、よろしく願いいたします。

○この「保護者等からの事業所評価表の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。